



題字/ 故西尾邑次  
元名誉会員揮毫

第62号

2019年12月15日発行  
東京鳥取県人会事務局  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10F  
電話 03(5212)9178  
FAX 03(5212)9079  
発行責任者/吉田政雄  
編集/県人会広報部会  
http://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin

# 10月14日(月・祝)令和初めての「総会と懇親の集い」は盛会裏に終了。足立盛二郎会長は勇退、吉田政雄新会長が就任、新体制がスタート



令和元年東京鳥取県人会「総会と懇親の集い」は、去る10月14日(月・祝)午前11時半から東京・千代田区の都市センターホテルで230余名参加のもと盛大に開催された。

吉田政雄副会長が第一声に始まり、足立盛二郎会長の挨拶は、台風19号が去ったばかりで心苦しいタイミングであるところを置き、被災地の皆さんへのお見舞いの言葉を述べた。

上、前日の台風にもかかわらず、副会長が任命され、他新人事も満場一致で承認された。(以下掲載)

このあと、司会は金田実子さんに代わり、望望の明大マン立116年を迎える鳥取県人会は今も昔と変わらぬふるさとへの思いを強くして会員一同結束していることを述べ、同結末していることを述べ、「互を越えて」で締めくくられた。

その後、米子出身で東京藝術大学を卒業、現在、二期会オペラ研修生の松原愛美さんが県民歌「わきあがる力」の独唱を行った。

谷長正彦事務局長からは会務報告があり決算予算は承認された。なお、今回は役員改選期でもあり、再度足立会長が壇上から退任の挨拶を述べ、後任会長に吉田政雄が就任した。

懇親の集いは吉田政雄新会長の挨拶に始まり、来賓の挨拶が行われ、先ず平井伸治知事から挨拶があった。台風19号にあって、ばかりで、災害大國日本に防災省がないのは不思議と、鳥取県には他県からの移住者がふえている。育児・福祉関係の施策で日本一が数多く30代の人を受けているからだろう。山陰に新幹線が無いのも不思議だ。単線一本でよい。人口減少だからこそ危機管理上からも地方分権を図る意味でも新幹線は必要なのだ、と力説された。成程と思わせる。

## 新会長の挨拶



今年10月14日の東京鳥取県人会総会におきまして、足立前会長の後任として、吉田政雄が就任いたしました。

当会は発足から今年で116年目になります。

会則にもある通り本会の目的は、会員相互の交流を深めて親睦を図ると共に、郷土鳥取県の発展に寄与することです。

皆様のご多幸で多彩な知見や人脈を活用させていただきながら、交流人口や関係人口の増加に、少しでもお役立ちできればと願っています。微力ですが、更には、県の方針に併せて、有形・無形の「鳥取の魅力」を会員個人が意識的にPRしていくことを心掛けていきます。

令和2年新年賀詞交歓会は、1月17日(金)正午から14時まで、とっとり・おかやま新橋館の「ももてなし家」で開催されます。

乾杯に立った藤縄喜和県議会議長は前日のラジビエ戦を引き合せて、「東京と鳥取でフアイトー発スクラムを組んでいきましょう」と力強い宣言を行い宴会へとつなげた。

## 《新しい人事》

五十音順	氏名	至 令和3年10月
役職名	天野 勇	上村 正明 金子 亮太郎 高治 隆生
顧問	足立 盛二郎	
名誉会長	池田 百合子	
名誉会員	池田 政雄	
会長	吉田 政雄	
副会長	藤節 日出男	福井 安一郎 三角 幸子
評議員	津澤 亮正 石坂 茂 上山 優一 小川 浩史	吉賀 貴三 近藤 裕
	金田 勉夫 倉塚 貴志子 丸山 舞子 本池 温夫	野口 賢樹 林田 英樹 舞立 昇治 本池 温夫
	山内 治男 山田 憲典 山本 和昭 津家 和英	
常任幹事	井上 結晶 奥田 真三 長尾 克己	
(東部)	市川 祐一郎 畑中 静子 藤井田 多恵子	
(中部)	相本 雅彦 上野 則子 下村 昭宏	
(西部)		
幹事	遠藤 隆司 河崎 妙子 越谷 重友	小島 進 杉原 真久 森谷 雅
(14名)	小島 壮 梶野 山崎 隆一 森谷 雅	平石 太老伯 越谷 雅
		越谷 雅
(中部)	池本 栄樹 井上 邦信 上野 茂美 加藤 雅子	川西 直隆 藤田 厚 藤井 康人 小藤 洋史
(西部)		
(14名)	青砥 基 井田 年厚 梅林 文夫 小野 彦彦	河田 安子 吉川 祥 末次 克彦 坂本 芳美
	永井 伸和 橋本 浩幸 山本 英幸 古川 久	
会計監事	花房 幸龍 松崎 一海	
事務局長	谷長 正彦 (鳥取県東京本部長)	

※下線の方が新任、又は異動者



2年余り前に赤崎在任の叔母の家で50年以上前の1967年に録音された「現地録音・日本昔話」古老達が語る生活と伝承」というタイトルのレコードが発見されました。さらに、そのレコードに吹き込んだ語り部

このレコードは、親和女子大生が、当時の東伯町森公民館を拠点として、近隣の老人に直接話を聞き録音していただいたもので、人気俳優の山崎さんでナレーションを担当されています。収録されてきたところ、鳥取県には少なくとも400近い昔話があることがわかりました。大事に保存し、後世に残すべく多くの「遺産」がある

## 鳥取県の昔話と語り

東京鳥取県人会・常任幹事 市川 祐一郎

随想リレー

一人である曾祖母宅にて、そのエピソードが掲載された日本海新聞の記事も見つかりました。これに際し、倉吉在住の叔母がそのレコードをCD化し配布したため、私もこれを知ることになりました。

部地方の方言がふんだんに織り交ぜられた、軽妙ながら格調の高い「語り」となっています。調べてみると、足利即ち人の言葉が聞けず、自分の意志を言葉で表現できなくなっているというところから「ある」と言われていることだ。昔話を「語り」継ぐことにより、人の繋がりも大事にしていければと願う次第です。

アジアンリゾートラウンジ  
ASIAN RESORT LOUNGE  
**陶庵**  
TOUAN  
鳥取市湖山町4丁目110-5  
鳥取砂丘コナン空港2F  
☎0857-31-0007

創業慶応元年 鳥取名産の伝統の味  
ちくわ・かまぼこ  
株式会社 **ちくわ**  
代表取締役 千村直美  
〒681-1202 鳥取県鳥取市河原町布張556  
TEL 0858-76-3333 FAX 0858-76-3335

リンガーハットグループは昭和37年、長崎市龍谷町の「とんかつ派かつ」の創業に始まります。その後、長崎ちゃんぽん専門店として「リンガーハット」の店舗展開を始め、創業より56年が経ちました。今では海外へも進出し、グループ合わせて800店舗を展開しています。

株式会社 **リンガーハット**  
代表取締役会長兼 CEO 米 濱 和 英  
(鳥取市出身)  
〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビル14F 鳥取営業所「たつぽん」  
TEL 03-5745-8611 FAX 03-5745-8622

地域の夢、お客様の夢をかなえる  
創造的なベストバンク  
山陰合同銀行 東京支店  
支店長 塚本 正志  
〒103-0028 東京都中央区日本橋兜町15-6  
TEL.03-3689-0211 FAX.03-3639-5250  
URL:http://www.gogin.co.jp





▲石破茂衆議院議員



▲平井伸治鳥取県知事



▲藤縄喜和鳥取県議  
会議長



▲司会者の金田実子さん



▲マンドリン演奏風景。左から2番目が  
会員の川口武さん



▲足立盛二郎さんに花束を贈呈する  
畑中静子さん「2年間ご苦労さま」



▲石破さん中央と若い学生寮の皆さんたち

▶松原愛実さん



▲山内治男さんご夫妻  
とその右近藤裕さん

▶萬治隆生さんを中央に  
左に稲田屋梅原会長、  
右は梅原社長



## 「総会と懇親の集い」 パチリ・スナップ集

恒例の東京鳥取県人会「総会と懇親の集い」は、去る10月14日(月祝)千代田区の「都市センターホテル」で230余名の参加で行われました。(写真/中村仁史、遠藤隆司)



▲ご婦人方勢揃い。中央に福井史枝さん、その右は畑中静子さん。



▲「わきががる力」を歌う皆さん。  
左に小野憲彦さん、中央に藤井田多恵子さん。

▶勝部日出男副会長と前本部長の吉井美和子さん



▲右から末次克彦さん、河崎妙子さん、小泉典子さん



▲右から東田収司さん、橋本幸夫さん、永井伸和さん



▶右から竹内功さん、足立盛二郎さん、林田英樹さん、土眞信三さん



▲奥田さん

7月6日東京東雲会(首都圏在住の鳥取二中・鳥取東高の同窓会)の令和元年度総会が開催され、山脈3回から62回までの幅広い年代の会員、鳥取からの母校関係者、また招待者を含め約100名の出席者のもと開催されました。まずは全員で校歌斉唱、冒頭林田英樹会長から、「新しい時代を迎え東京東雲会も若い会員の参加・運営で盛り上げ、益々楽しい会にしていきたい」と挨拶。そして今最も多忙なCMディレクター、au三太郎シリーズ等で著名

### 同窓会便り

# 62回生まで100名が参加

東京東雲会 奥田 真三

鳥取市歴史博物館の伊藤康晴学芸員が来場者に囲まれた。鳥取市歴史博物館の伊藤康晴学芸員が来場者に囲まれた。鳥取市歴史博物館の伊藤康晴学芸員が来場者に囲まれた。鳥取市歴史博物館の伊藤康晴学芸員が来場者に囲まれた。



(文/末次克彦)

## 心打つ史跡・文化財 旧鳥取藩主墓所の灯籠会

とうろうえ

公益財団法人・史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が主催する毎年恒例の灯籠会が9月28日(土)夕、鳥取市国府の墓所で開かれ、今年も多くの市民が訪れた。



▲当主池田百合子さん

人気の催し物は毎年工夫が凝らされているが、こしは墓所のガイド、ポップス尺八奏者の鎮魂歌(演題「たむけ」)、演奏・TERU(功山)、地元婦人グループの伝統芸能等盛り沢山だった。墓所保存会の名誉会長で、旧藩主池田家の16代当主池田百合子女士は「私は毎年この会に参加しています。特に、小学生の皆さんや地元で墓所清掃整備にご協力いただいている方々にお礼を申し上げます。灯籠会では市民の皆さんが灯を入れてくださる灯籠の管ががとても幻想的で、風情がありがます。年々おいでくださる市民の数が増えて、うれしく思います」と開会の挨拶をした。鳥取市歴史博物館の伊藤康晴学芸員が来場者に囲まれた。

主題歌(マスタッド・アローン)の3曲が演奏された。全国でも江戸期藩主の大きな墓所の良き保存と県民・市民がゆつくりと歴史を体感できる史跡の活用はそう多くない。鳥取県は戦後の混乱期にいち早く墓所の史跡指定を確保し、国の財政支援と県財政の活用で旧藩主墓所の保存に成功、市民の生きた文化財、観光資源にもなっている。今年の灯籠会で県文化財局長(中原斎氏)はここ10年来、墓所の本格的な修理に力を入れていくと挨拶した。人口最小県の公共団体や市民が史跡・文化財を護り、活かす意地を示している話である。これは地味だが、ピリッとした心根を持つ県民性が健在であるとも評価したい。

山徳 家富 山 TEL-FAX 03-6280-3807 URL https://kabura.gorp.jp/

株式会社 ID ホールディングス 代表取締役社長 船越 真樹

ほくしん株式会社 代表取締役 蒲生 幹雄

株式会社 内藤音楽事務所 Netto Musical Enterprises 代表取締役 藤井田多恵子

株式会社 味の素 代表取締役 藤井田多恵子